

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で
生活資金でお悩みの皆さまへ

* 一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

| 特例貸付 | 緊急小口資金 | 総合支援資金 |
|----------|---------|------------------------------------|
| 対象者 | 休業された方等 | 失業された方等 |
| 貸付上限額 | 最大20万円 | 20万円×3ヶ月(2人以上世帯) 15万円×3ヶ月(単身世帯) |
| 据置期間 | 1年以内 | 1年以内 |
| 償還期限 | 2年以内 | 10年以内 |
| 貸付利子・保証人 | 無利子・不要 | 無利子・不要 |

申込は7月末日まで。詳細はお問合せください。【ホームページ】<http://www.kyoshakyo.or.jp/ujitawara/>

* 地域ひとつなぎ事業の実施団体募集!

見守りを通じて安心・安全な地域づくり

地域で孤立しがちな住民等を戸別訪問し、見守ることによって孤立を防ぎ、安心・安全な地域づくりをめざす活動の強化(拡充)を図るため、活動経費を助成します。

| 対象 | 高齢、障害、児童問わず、地域で生活している見守りが必要な方 | |
|--------|---|---------|
| 内容 | ・戸別訪問、配食見守り活動、電話による安否確認など ※見守り対象者(実数)が5人以上かつ対象者一人あたりの年間見守り活動回数が10回以上で、活動者間で定期的な情報共有の場をもつこと ・実施期間 令和2年4月1日~令和3年2月28日 | |
| 助成額 | 対象者数(実数) | 単価 |
| | 5~20名 | 20,000円 |
| | 21~50名 | 30,000円 |
| 51名~ | 40,000円 | |
| 問合わせ申込 | 6月8日(月)までに社協88-3294へ | |

善意のご寄付 <令和2年1月~5月>

寄付金 合計 15,000円

物品

- ・匿名様
- ・中井 則男(郷之口) 様

- ・匿名様 / 芍薬の花

5月14日、「コロナ自粛で面会も中止されている施設の方々に少しでも心を和ませて欲しい」と、たくさんの芍薬(シャクヤク)をいただきました。町内福祉施設5ヶ所と役場へお届けした他、やすらぎ荘にも飾り付け咲き誇る大輪の花を楽しみました。



ボランティアセンターだより

社会福祉法人 宇治田原町社会福祉協議会
〒610-0252 宇治田原町荒木天皇2 老人福祉センターやすらぎ荘内
TEL 0774-88-3294 FAX 0774-88-4094
URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/ujitawara/>
E-mail yasuragi@gamma.ocn.ne.jp

令和2年6月号
NO. 338

【お知らせ】新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため5月末まで閉館していましたやすらぎ荘は、6月より開館となります(お風呂を除く)。但し、一部利用の制限をさせていただく場合があります。利用に際しましては、マスクの着用、検温器・消毒液の使用、三密(密閉・密集・密接)を避けて十分に気を付けていただきますようお願いいたします。

☆喫茶ボランティア・てい♡ぽっと「やすらぎカフェ」は6月も引き続きお休みします。
※「ころ柿カフェ」は実施します。

「絆のマスク・プロジェクト」温かなお気持ち ありがとうございました!



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、マスク入手が困難な状況の中、少しでも安心安全に過ごしていただくよう手作りマスクを募集(5月3日~20日)したところ、31名の方から314枚という多くの寄付をいただきました。大きさや柄を工夫して女性や男性、子ども用に分けて作ってくださった方もありました。

このマスクは5月14日、配食サービスの一人暮らしや高齢者世帯のお年寄り17名にお弁当と一緒にお届けし、わかば会(一人暮らし高齢者)の会員68名にも、中止となった総会資料に同封して送付。また、町内福祉施設5ヶ所へもお持ちし、移送サービス、くらしのサポート等の社協事業でも利用者の方に随時お渡ししています。

切手くんの会 収集物を寄付しました!

収集ボランティアとして町内14ヶ所に切手や書き損じのハガキ等を有効活用している切手くんの会(伊藤順子代表・11名)。毎月の定例会で古切手の台紙の回りを5mm~1cm残して切り取り、今年3月、10kgに達したため、(社)日本キリスト教海外医療協会へ送付しました。切手は海外の郵便家に頒布され発展途上国の医療従事者派遣資金(12,000円相当)に活用されます。

また、平成8年の発足当初から集めた使い古しのテレホンカード2233枚もNPO法人・誕生日ありがとう運動本部に送付。しおり等にリメイクされたり、収集家に頒布され障害者福祉に役立てられます。

新庁舎の建設資金に3万円など

3月25日、収集した書き損じはがき等を換金し、新庁舎の建設資金を募集されていた町役場にお届けしました。

これまでから町内福祉教育団体や海外を含む被災地へも随時、寄付活動を行っています。昨年度は「九州北部の8月豪雨」、「東日本の台風19号」に5000円ずつの義援金を寄せました。



切手くんの会メンバーより
「町内外の皆さまの収集へのご協力の賜物です。ありがとうございました」